

児童発達支援

(別紙3)

【公表】 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ひふみ信州中野教室			
○保護者評価実施期間	2025年10月11日～2025年11月1日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数)	2
○従業者評価実施期間	2025年10月9日～2025年11月1日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	2025年11月5日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや 意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門職（保育士・作業療法士・理学療法士）を配置しています。	専門的視点で個別及び、集団支援を行うことが出来ます。 個別療育計画書を主に1人1人に合わせた療育方法を提供します。	個別の課題内容を都度見直しながら、個別に課題・学習・作業と工夫を行い、生活動作や就労に繋がるような充実した取り組みを行っていきます。
2	運動遊びを主軸とした療育の実施を行っています。	屋内での運動遊びに加え、地域の資源（公園・体育館等）を活用し、感覚統合の支援もいれながら、運動遊びを行っています。 また、5領域を踏まえながら子ども達の発達状況に応じた支援を行います。	動きの多彩化やお子さんの発達段階に応じた運動遊びの提供を行っていきます。 また、より多彩な経験が行えるように、現状や個々のレベルに合わせた運動プログラムを構築できるように配慮しています。
3	ご利用者様に合わせた自立支援（通所方法等）のサポート支援や調理活動など自立活動を積極的に取り組んでいます。	ご利用者様の意向に寄り添った支援や、ご家族のご要望や希望に合った支援・療育を行います。 また、微細運動を行う調理活動を多く取り入れ、多彩な活動を行っています。	今後さらに個々に応じた支援の充実が図れるよう、ご家庭だけでなく学校側・他事業所など協力をし、自立に向けた支援を行っていきます。 長期休みなど学校休業日には様々な体験や経験が積めるよう計画をしていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている 課題の要因等	改善に向けて必要な取組や 工夫が必要な点等
1	保護者会や家族も参加できる研修会などの家族支援（ペアレント・トレーニングなど）	保護者会等を開催する時間帯の取り辛さ、保護者の方々との時間調整の難しさがあります。 また、保護者会等の保護者同士の交流を望んでいないご家庭も多いことも開催されない理由の1つにあります。	お子さんへの困り感や障害特性など様々な情報共有が出来るように教室通信などを通して、配布していきます。
2	活動スペースやトイレなど設備の少なさ	利用児童の人数によりスペースが狭いと感じることもあります。 またトイレが1つしかない為、混雑時はトイレ渋滞が起きることもあります。	支援スペースが限られている為、個別スペースとしてパーテーションを使用しながら空間を分けるように工夫をしています。 トイレに関しても混雑時などは外のトイレ（薬局・ビル2F）を利用させて頂くことがあります。
3			